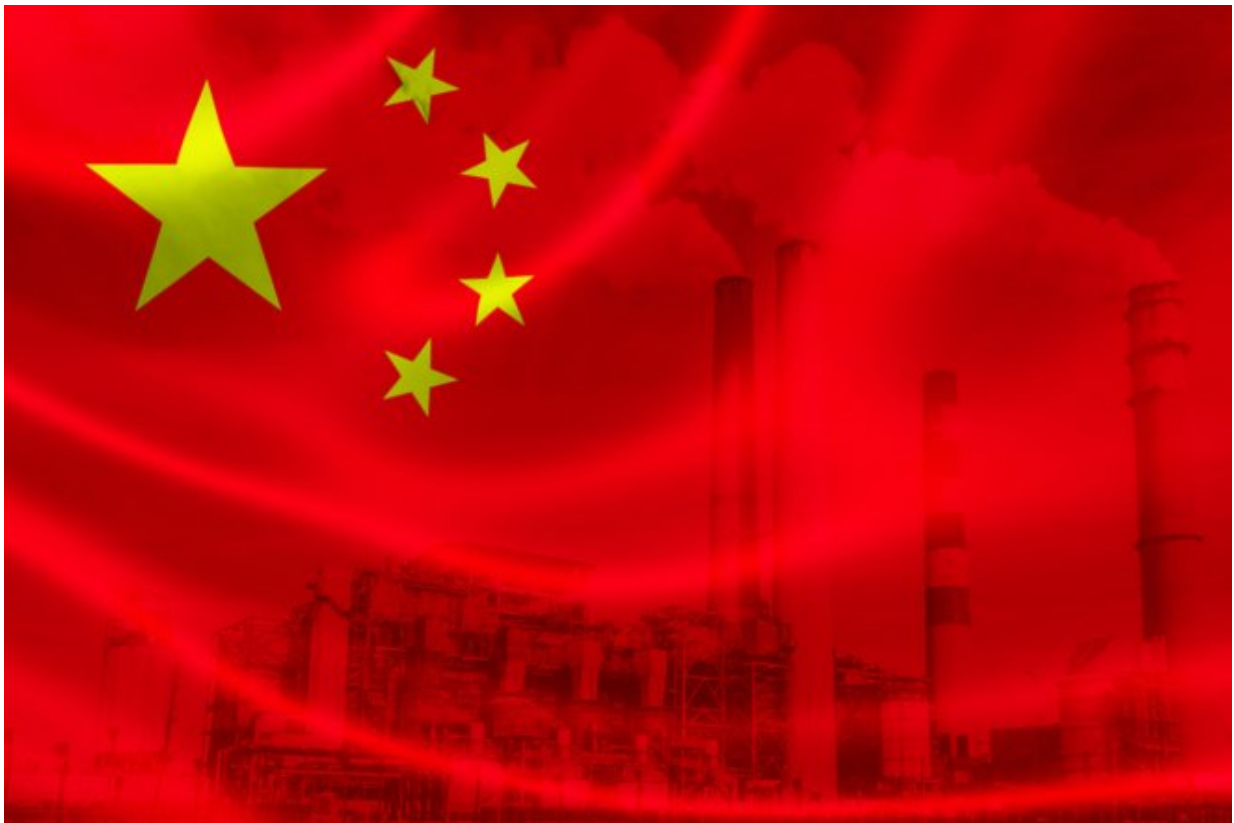


Global Energy Policy Research

GEPR (グローバル・エネルギー・ポリシー・リサーチ) は、日本と世界のエネルギー政策を深く公平に研究し、社会に提言するウェブ上の「仮想シンクタンク」です。この機関は、アゴラ研究所 (<http://agorajp.com/>、東京) が運営し、エネルギー問題についての研究と調査、インターネットでの情報提供、シンポジウムの開催、提言の作成、書籍の出版を行います。

中国のCO2は先進国の合計を追い越し、更に増え続ける

杉山 大志 · Tuesday, July 6th, 2021



ronniechua/iStock

中国のCO2排出量は1国で先進国 (米国、カナダ、日本、EU) の合計を追い越した。

分かり易い図があったので共有したい。

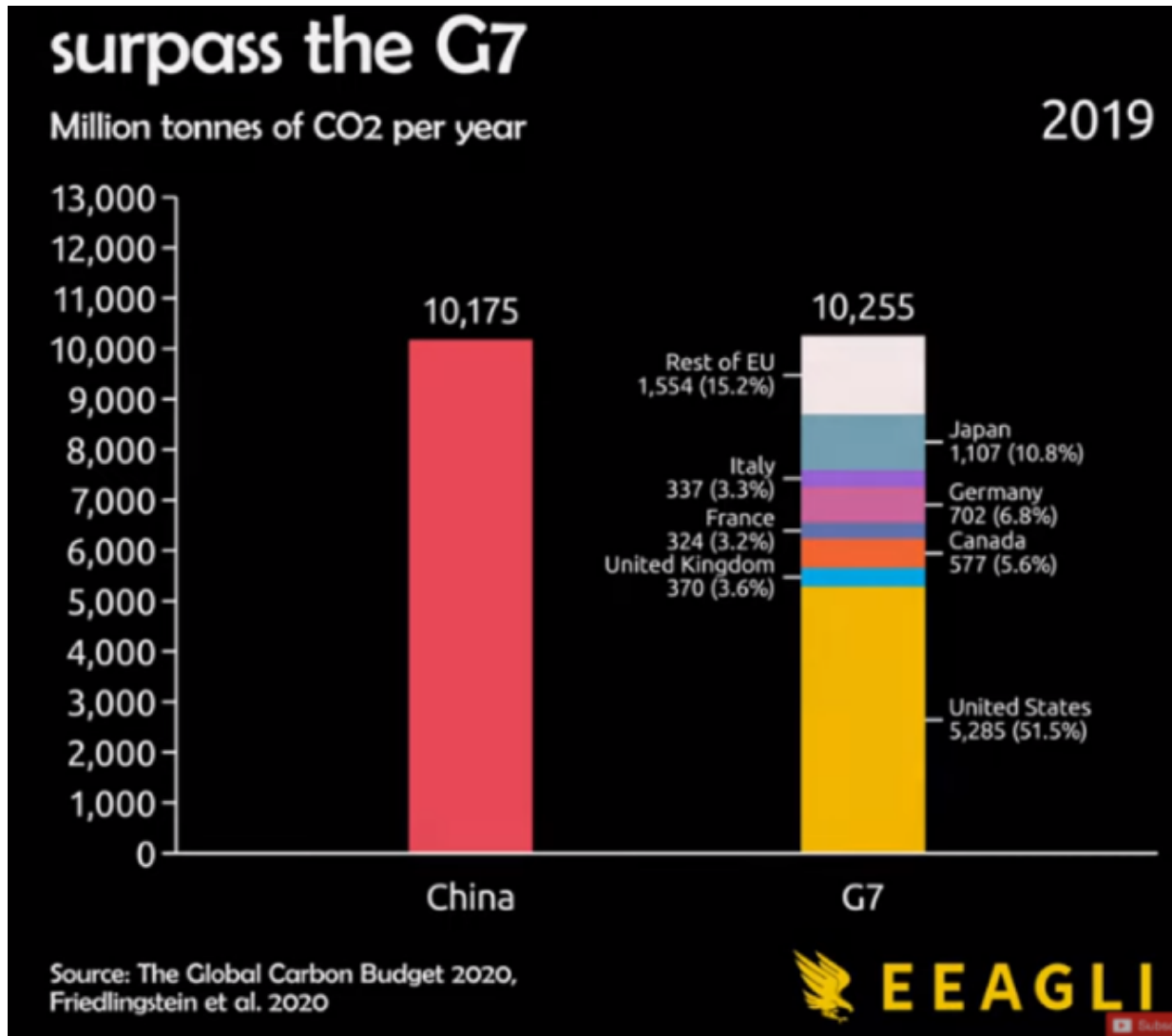


図1

図1は、James Eagle氏作成の動画「China's CO2 emissions almost surpass the G7

」からのスクリーンショット。縦軸は年間のCO2排出量で単位は100万トン。左が中国、右は先進国（G7である米国、英国、カナダ、日フランス、ドイツ、イタリア、日本、およびその他のEU）。

動画では中国のCO2排出が2000年以降急速に伸び続け、2019年時点でほぼ追いつていることが分かる。伸びの勢いからみて、既に逆転しているであろう。

さて今後はどうか。

日本を含めて、先進国は軒並み2030年までにCO2を半減すると宣言している。

その一方で、

中国の現行の5か年計画では、2025年までにあと1割CO2を増やす見込みである。また中国は2030年まではCO2の増加を続けるとしている。

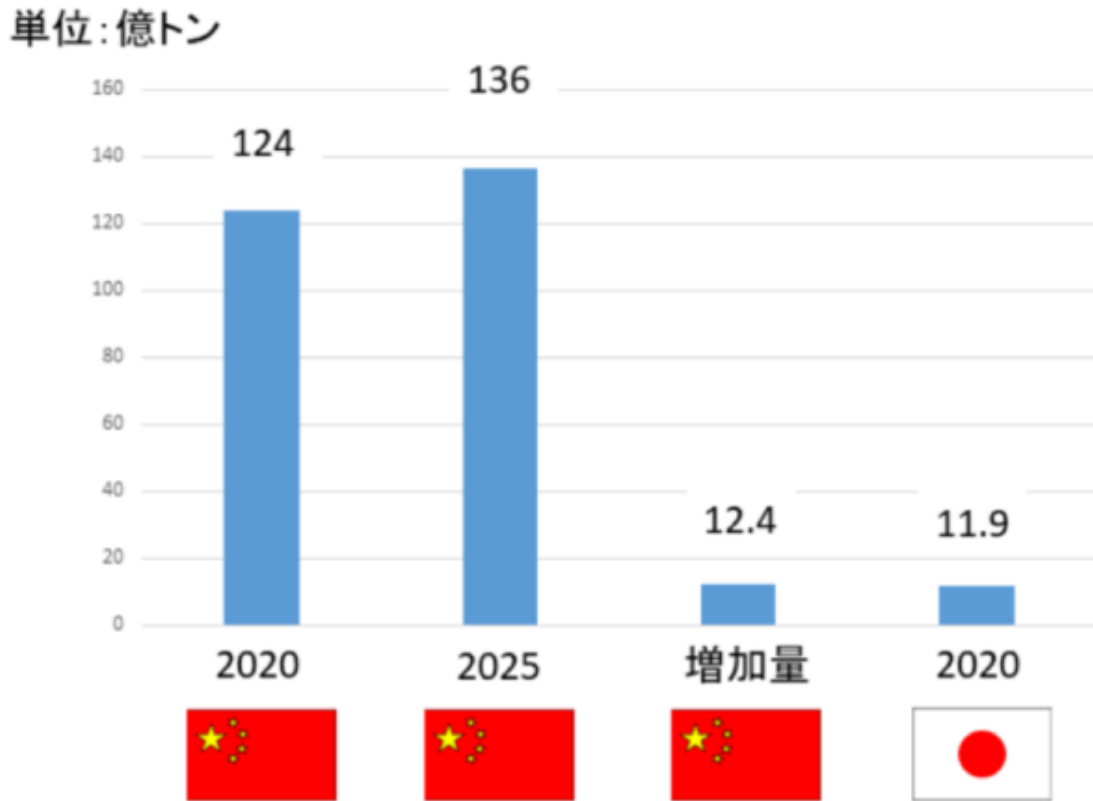


図2

この図2の縦軸はCO₂等^{注1)}の年間排出量で、単位は億トン。今後5年の中国の増加量は、日本の年間排出量に匹敵する。

先進国が本当にCO₂を半減できるなどとは筆者は思わないが、それを目指すだけで、産業空洞化などによる経済的な悪影響は計り知れない。

その一方で、中国はCO₂に制約されることなく経済成長を続ける。

先進国は、民主主義を守るどころか、共産主義・中国の台頭を前にして、わざわざ自滅しようとしている。

<注記>

注1)

やや細かく言うと、この図2は、図1と厳密には数値の意味が違う。CO₂だけでなくメタンなど他の温室効果ガスも加えたCO₂等^{注1)}で表示してある。本稿の議論には影響はない。



クリックするとリンクに飛びます。

「脱炭素」は嘘だらけ

This entry was posted on Tuesday, July 6th, 2021 at 7:00 am and is filed under [コラム](#), [地球温暖化](#)

You can follow any responses to this entry through the [Comments \(RSS\)](#) feed. Both comments and pings are currently closed.